【気軽に読める“くらしのネタ”　2016 年 6 月号・Vol.169】

イノスマンスリー

INOS

伝えたい！　生活のコツレシピ

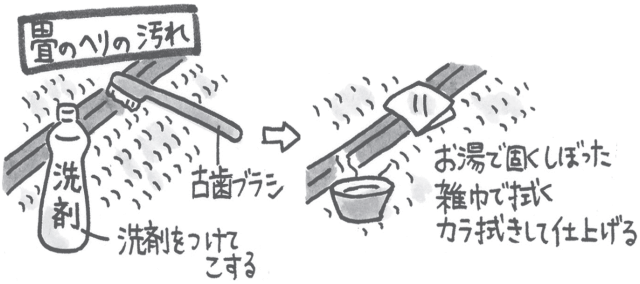
和室を美しく①
畳のお手入れ

＊頻繁な水拭きや化学雑巾は禁物

畳は水が嫌い。水分を吸収すると汚れがつきやすく、カビの原因にもなる。普段の手入れはほうきや掃除機をかけるだけでＯＫだ。畳を傷めないよう、目に沿って行なうのがコツ。週に１回程度カラ拭きするが、化学雑巾は避けて。畳の表面に油が残り、ホコリを呼んでしまう。汚れてきたら晴天の日を選び、お湯か住宅用洗剤の薄め液で固くしぼった雑巾で拭き、カラ拭きしてよく乾燥させよう。

＊ヘリの汚れは古歯ブラシですっきり

畳のヘリの汚れが気になったら、古歯ブラシに台所用洗剤をつけて、こすって落とすといい。その後はお湯で固くしぼった雑巾で洗剤分を拭き取り、カラ拭きする。ヘリにカビが生えたときは、消毒用エタノールをスプレーし、軽くたたいて取る。



＊みかんの皮や酢で黄ばみ対策を

畳の黄ばみを取るには、みかんの皮の出し汁（みかん５～６個分の皮を水と一緒に 15 分程度煮て冷ます）で雑巾を固くしぼって拭くと効果がある。黄ばみ防止には酢水を活用しよう。酢を水で２～３倍に薄めた液で雑巾を固くしぼって拭き、そのあとカラ拭きしておく。

和室を美しく②
障子のお手入れ

＊桟のホコリを楽に取るには

障子の桟についたホコリはつい水拭きしがちだが、水拭きするとホコリが桟に黒くしみ込み、障子紙のシミや変色の原因にもなる。ホコリは化学ばたきやブラシ、カラ拭きで取るようにしよう。不用になったパンストを手にはめ、親指と人指し指で桟をつまむようになぞって拭くのもいい。桟の隅のホコリは筆先でかき出して。なお、敷居の隅の汚れやこびりついたホコリを取るには竹串が便利。

＊障子紙を張り替えずに白くする

障子紙が黄ばんできたり、日焼けがひどくなったりしたら、張り替えるのがベストだが、もっと簡単な方法も。コップ１杯の水に、洗濯のり小さじ１杯と漂白剤小さじ２杯を入れて混ぜ、障子紙にハケで塗るか、霧吹きでスプレーすると、元の白さが戻る。

＊障子紙が破れたときの手軽な対応法

障子の破れは見苦しいものだが、１カ所破れただけで、１枚分を全部張り替えるのも面倒。そんなときは、破れた部分の桟のひと枠を張り替えて応急処置を。桟のひと枠の部分の紙をカミソリで切り落とし、桟にのりをつけて新しい紙を張る。張った紙だけが新しくて目立つが、破れたままよりはずっといい。

コラ

◆◆◆障子の張り替えは天気の悪い日が吉日◆◆◆

昔から障子の張り替えは天気の悪い日がよいとされてきました。雨降りの日は、紙が適度に湿ってやわらかくなっており、のりの乾きも遅いため、あとでピンと張ったキレイな仕上がりになるからです。

古い障子紙は霧吹きで全体を濡らし、桟の部分は大根おろしを裏から塗り、30 分ほどおくと剥がしやすくなります。新しい紙は下の段から２枠ずつ上に向かって張り、１枚張り終わったら霧吹きで水を吹きかけるのが、上手に張るコツです。

『住まいのお手入れＢＯＯＫ』（ＰＨＰ研究所）より

『住まいのお手入れＢＯＯＫ』からのお役立ち情報、次号もお楽しみ

全国に広がる家づくりネットワーク
INOS
イノスグループ

株式会社
まるの工務店